



神奈川県博物館協会

神奈川県内で活動する博物館が、相互の連絡をはかり、博物館活動の振興に努め、また学術文化の進展に寄与することを目的として設立しました。現在は歴史館、美術館、科学館、水族館、動物園、植物園など98館園の加盟で活動しています。

活動の主な内容

1. 博物館相互の連絡と連携、情報交換
2. 博物館事業に関する調査研究
3. 研究会、研修会、映画会等の開催
4. 機関誌の発行
5. 共同事業の企画、促進

2020年発行の「ぐるりかながわミュージアムマップ」では西湘・湘南地域の特集記事を掲載しております。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、開館時間の短縮や臨時閉館等、掲載情報とは異なる場合がございます。お出かけ前には各館館へご確認をお願い致します。

表紙の写真は

相模湾大水槽（新江ノ島水族館）

上：幻想的な構造空間クラゲファンタジーホール（新江ノ島水族館）
中：館で飼育しているニジイロクワガタ（箱根町立森のふれあい館）
下：プラネタリウム投影機「パンドラ」（平塚市博物館）

発行：

神奈川県博物館協会

〒231-0006

横浜市中区南仲通5-60 神奈川県立歴史博物館内

TEL:045-201-0926 FAX:045-201-7364

E-mail: kanagawa-kenpaku@ocn.ne.jp

QRコード
twitter.com/kngw_kenpaku

2021年1月20日発行

印刷：(株) TACT-JAPAN

湘南

59 藤沢市湘南台文化センターこども館 宇宙や未来への夢を広げるこども館



こども館には、展示ホール、ワークショップ、宇宙劇場の三つがあります。展示ホールは、常設展示のほか季節の行事に合わせた展示やイベントを行い、ワークショップは、様々な工作などの体験を子ども達に提供しています。宇宙劇場は、通常のプラネタリウムだけでなく、アーティストが星空を楽しめる「のんびりアーティスト・プラネタリウム」など大人の方にも楽しんでいただける「ナイト☆イベント」も開催。2020年4月からは、こども館が制作した動画「こども館TV」も配信しています。

60 日本大学生物資源科学部博物館 無料で学べる大学博物館

大学内にある博物館ですが、一般の方も見学できます。2019年に1階展示室を「骨の博物館」としてリニューアルしました。家畜・大型動物の骨格・剥製標本・海洋生物標本・透明標本・昆蟲・植物標本・古農具・海洋生物の生体展示等、さまざまな学部関連資料を常設展示しています。家畜骨標本は獣医学科の実習で作成されたものが数多くあります。また、企画展・セミナー等のイベントも開催しています。

61-1 藤沢市生涯学習部郷土歴史課

61-2 藤澤浮世絵館

郷土資料の観点から収集した、藤沢市に関係の深い旧東海道藤沢宿や江の島を描いた浮世絵や、東海道に関する資料を展示しています。

藤沢市は、東海道五十三次の6番目の宿場として、また江戸時代からの一大観光地である江の島の存在から、多くの浮世絵が描かれた日本でも有数の場所です。歌麿や北斎、広重、春章、国貞、国芳など著名な絵師から無名絵師まで、作品も風景から旅や暮らしなど様々な視点で浮世絵をご覧いただくことができます。

61-3 藤沢市ふじさわ宿交流館

藤沢宿は、江戸時代には旧東海道の宿場町として、大山詣や江の島詣をする人々の交通の要衝としてぎわいました。ふじさわ宿交流館は、藤沢の歴史や文化に触れ、人々が交流できる場となっています。

郷土資料展示では、東海道五十三次や藤沢宿などに関する資料を展示しています。また、多目的ホールでは、歴史散策やウォーキングの休憩場所として利用されていることのほか、多くの講演やワークショップなどの催しを開催しています。

62 新江ノ島水族館 わくわくドキドキ冒險水族館

相模湾に面し、右手に富士山、左手に江の島を望む抜群のロケーションに建つ水族館。目前の海を再現した「相模湾大水槽」では、美しいマーメイドの群泳を観察できます。また湘南の特産品であるシラスの成長過程や、特殊

な深海環境を再現した展示水槽、JAMSTECの有人潜水調査船「しんかい2000」の実機も公開しています。60年以上の飼育研究を誇るクレゲ展示や、ペンギン、アザラシ、カワウなどの人気動物にも会えます。潮風を感じながらのダイナミックなイルカショーは必見です。

63 江島神社奉安殿 弁財天信仰の発信

国指定重要文化財の八臂弁財天像、藤沢市指定重要文化財の妙音弁財天の二船ほか、御神宝を奉祀する奉安殿は、1970年に造営されてより多くの参觀者を迎えてまいりました。

伝統的内観と最新の照明技術による情操深い拝観施設で、日本三大弁財天の中でも唯一常時拝観が可能です。

これからも弁財天信仰を発信し続ける江島神社奉安殿です。

64 茅ヶ崎市美術館 個性的で多彩な展示を実施

湘南の古き良き景観である松林の丘に建つ茅ヶ崎市美術館は、1998年に開館。個性的で多彩な展覧会を開催しています。近年では、共生社会に目を向けた先進的な取り組みも注目されています。2021年度は藤田道子展、藤原大展に続き、「アラチスラバ世界」東欧スロバキア共和国の首都布拉チスラバで開催される世界最大規模の絵本原画コンクールから、日本との交流100年を記念し、スロバキアと隣国チエコの作家を中心に、日本からの参加作家の原画作品などを展示いたします（写真：ハサン・ムーサヴィー「ボクサー」画面）。

湘南

65 茅ヶ崎市文化資料館 湘南の地域博物館さきかけ

こども館には、展示ホール、ワークショップ、宇宙劇場の三つがあります。展示ホールは、常設展示のほか季節の行事に合わせた展示やイベントを行い、ワークショップは、様々な工作などの体験を子ども達に提供しています。宇宙劇場は、通常の

プラネタリウムだけでなく、アーティストが星空を楽しめる「のんびりアーティスト・プラネタリウム」など大人の方にも楽しんでいただける「ナイト☆イベント」も開催。2020年4月からは、こども館が制作した動画「こども館TV」も配信しています。

66 平塚市博物館

平塚市博物館には、1976年の開館以来多くの資料を集められてきました。それらの資料を、調べたり、比べたり、読み取ったりすることで、私たちは自分の住んでいるまちの歴史や自然の様子を知ることができます。博物館に入ってすぐ右側にあるこのコーナーでは、博物館にどんな資料があるか扉や引き出しを開けて探していただけます。現在は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、扉を触れずに中身が見られるようにしています。もしあなたが興味を持つものがありましたら、館内の別の展示でも資料を探してみてください。

67 大磯町郷土資料館

郷土資料館では、大磯と周辺地域を含む豊かな風土の拡がりを「湘南の丘陵と海」というテーマとしてとらえ、1988年10月の開館以来、活動を進めています。そして、2016年11月に展示室リニューアルを行い、エントランスホール、展示ホール、回廊、常設展示室の展示を一新しました。新たに常設展示は、長年の博物館活動の成果を活かした考古・歴史・民俗・自然の展示とともに、特に「別荘地・大磯」にかかる近代史、現代史に重点を置いた展示を展開しています。

68 三之宮郷土博物館 古代文化発祥の地へ遺物から太古を偲ぶ

当地周辺（三ノ宮・栗原）では360基を越える古墳が確認され、考古学の先駆者・坪井正五郎博士や大場磐雄博士等も発掘調査に取り組んでいます。うち古墳群で登尾山古墳からは、類例の少ない貴重な金銅装の装飾大刀や馬具、銅鏡等が出土し、それらを含む約2,000点の資料を保管展示しています。比叡山神社境内に移築された下谷戸羅文遺跡環状と住居跡や相模湾を眺望する丘陵地の古墳を訪れ、太古を偲ぶのもおすすめです。

69 はだの歴史博物館

当館は、桜土手古墳群の中になります。この古墳群は35基から構成される古墳時代後期の群集墳として、県下でも有数の規模を誇るものであるため、古墳公園として整備されました。公園内には古墳群の中での最大規模の1号墳が復元されています。開館時から出土遺物等を公募する展示館でしたが、30周年を迎えた令和2年11月に秦野の歴史と文化をテーマとする歴史博物館にリニューアルしました。古代から近代までの常設展示、年2回の特別展や様々な講演会等に参加して秦野の歴史に触れてください。

これからも弁財天信仰を発信し続ける江島神社奉安殿です。

70 遊行寺宝物館 中近世仏教美術と時衆史を企画展で紹介します

当館は、東海道の古刹として知られた遊行寺（時宗總本山清淨光寺）が正中2年（1325）の開山以来大切に保管してきた、絵画や彫刻、工芸品、経典・典籍や中近世文書など約2万件の資料を維持管理しつつ公開するため、昭和52年（1977）に遊行寺内に開館した美術博物館です。常設展示は無く、年5回程度の収蔵品を中心とした企画展や特別展を開催します。時衆美術とともに収蔵される品々と共に、古代から近現代まで幅広い作品を駆使した企画展示をお楽しみ下さい。

湘南

71 松前記念館（東海大学 歴史と未来の博物館） 私学の建学の理念を守り伝える博物館

1971年に開館した茅ヶ崎市文化資料館は、茅ヶ崎の自然や歴史・文化について市民ボランティアと協力しながら調べ、資料を集めて守り、展示会やワークショップなどの開催をしています。収蔵する資料は7万点を超えます。現在は茅ヶ崎を語るに欠かせない資料と情報を次世代に継承するため、2022年度の開館を目指して新たな博物館づくりに取り組んでいます。なお、現在の文化資料館は2021年3月末をもって閉館する予定です。

72 寒川神社 方徳資料館 全国唯一の八方除信仰資料館

高座郡寒川町宮山に鎮座する寒川神社は、全国唯一の八方除の守護神として多くの崇敬を集めています。方徳資料館は本殿の裏方に位置する神嶽山神苑内にあり、寒川神社の歴史をはじめ、古来大陸より伝わった方位信仰の歴史を紹介しています。

北条三代に亘る造営事業の様子を窺い知ることのできる棟札や武田信玄奉納の「六十二間筋筋鉢」等の貴重な資料を常設公開、また展示室天井には方位信仰を象徴する星宿図・獣頭十二支像が配置され、臨場感あふれる展示をご覧いただくことができます。

73 小田原市尊徳記念館・二宮尊徳生家

小田原市尊徳記念館は、江戸時代後期に柏山村（現小田原市柏山）に生まれ、少年期の苦難を克服し、荒廃した各地の農村の復興に尽力した二宮尊徳（金次郎）を顕彰する施設です。尊徳の没後100年にあたる昭和30年（1955）に開館し、昭和63年に現在の建物に改築されました。

展示室では、ジオラマやアニメーションでその生涯を紹介とともに、功績を今に伝える数々の遺品を展示しています。また、館のとなりは尊徳の生家跡にあたり、移築復原された生家や顕彰碑が建てられています。

74 小田原市郷土文化館 旧石器時代から現代までの小田原を知る

海・山など豊かな自然環境に恵まれ、城下町・宿場町としても栄えた小田原で、1955年に開館した当館では、旧石器時代から現代までの小田原の歴史や民俗、自然に関する資料を展示しています。羽根尾貝塚・中里遺跡・千代寺跡など市内の遺跡から出土した資料をはじめ小田原北条氏・小田原藩時代の資料、昭和・大正・昭和の小田原と市民の生活を紹介する資料、農具などの民俗や講など信仰に関する資料等を展示しており、小田原の歴史や民俗、自然について学ぶことができます。ぜひお立ち寄りください。

75 報徳博物館

現在の小田原市柏山の農家に生まれた二宮尊徳（金次郎）は、勉学と実践を積んで練り上げた独自の思想をもとに、北闇東を主として約600か村の復興に尽力したほか、窮屈した個人の家の再生にも多くの携わりました。尊徳は生前から多くの人々に慕われ、その教えは今日まで、さまざまな形で継承されています。報徳博物館は1983年の開館以来、尊徳の業績・思想、彼を慕う人々の活動（報徳運動）に関する資料の収集や調査・研究・普及などにつめています。

76 神奈川県立生命の星・地球博物館 1万点の実物標本で地球を体感しよう

当館は、東海道の古刹として知られた遊行寺（時宗總本山清淨光寺）が正中2年（1325）の開山以来大切に保管してきた、絵画や彫刻、工芸品、経典・典籍や中近世文書など約2万件の資料を維持管理しつつ公開するため、昭和52年（1977）に遊行寺内に開館した美術博物館です。常設展示は無く、年5回程度の収蔵品を中心とした企画展や特別展を開催します。時衆美術とともに収蔵される品々と共に、古代から近現代まで幅広い作品を駆使した企画展示をお楽しみ下さい。

湘南

77 真鶴町立遠藤貝類博物館 貝を通して海を知ろう

真鶴町出身の貝類研究家、故遠藤晴雄氏が収集した4500種50000点に及ぶ貝類標本を中心には、海の生き物に関する展示を行っています。さらに並んだコレクションの中でも、特に圧巻のが「生きた化石」と呼ばれるオキナビス類で、現生する30種のうち27種を展示しています。施設は真鶴半島の先端、三ツ石海岸のすぐそばにあり、磯で生き物を楽しみながら学ぶ「海の学校」などのイベントも開催しています。

78 真鶴町立中川一政美術館

高座郡寒川町宮山に鎮座する寒川神社は、全国唯一の八方除の守護神として多くの崇敬を集めています。方徳資料館は本殿の裏方に位置する神嶽山神苑内にあり、寒川神社の歴史をはじめ、古来大陸より伝わった方位信仰の歴史を紹介しています。

北条三代に亘る造営事業の様子を窺い知ることのできる棟札や武田信玄奉納の「六十二間筋筋鉢」等の貴重な資料を常設公開、また展示室天井には方位信仰を象徴する星宿図・獣頭十二支像が配置され、臨場感あふれる展示をご覧いただくことができます。

79 町立湯河原美術館 湯河原が愛した画家 湯河原を愛した画家

古くから温泉保養地として知られる湯河原は、明治以降多くの文人墨客が訪れます。当館は、竹内楳鳳や安井曾太郎等が逗留した老舗旅館を改装し、湯河原にゆかりの作品を保存、展示しています。「平松礼二館」では、現在活躍中の日本画家・平松礼二の作品を企画展で紹介するほか、館内に設けたアトリエを開いています。

また、自然に囲まれた庭園やミュージアムショップ、足湯のあるカフェを併設しています。芸術品とともに癒しのひとときをお過ごしください。

80 箱根町立郷土資料館 歴史を知ると、箱根はもっと面白い！

箱根湯本駅から徒歩5分の場所にある当館は、現在の国際観光地となるまでの観光地化の歴史をテーマに展示しています。湯治から物見遊山へと利用形態が多様化した江戸時代の「箱根七湯」から、新たな交通機関が敷設されて次々と温泉場が開発され、「十七湯」にまで発展した箱根の近代化の歴史と、

展示室では、ジオラマやアニメーションでその生涯を紹介とともに、功績を今に伝える数々の遺品を展示しています。また、館のとなりは尊徳の生家跡にあたり、移築復原された生家や顕彰碑が建てられています。

81 彫刻の森美術館 家族みんなで楽しめる野外美術館

国内で初めて開設したオープニングアート・ミュージアム。7万m²の広大な敷地内には、ロダンやムーアなど近代・現代を代表する国内外の巨匠の作品約120点を散策気分で鑑賞できます。その他には、世界有数のコレクション300点余りを順次公開しているビカソ館など、多くの屋内展示場があります。また、子供が楽しめる体验型作品や敷地内から